

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper



INDEX

- ごあいさつ
院長 木寺 義郎…………… ①
- 事務部長就任のご挨拶
- 婦人科部長就任の
ご挨拶…………… ②
- 内視鏡センターの開設の
お知らせ
- 集中治療室(ICU)開設の
お知らせ
- 診療活動の現況…………… ③
— 食物アレルギー —
- 新採用医師の紹介…………… ⑤
- 地域医療連携室より… ⑥
- 佐世保共済病院学術講演
会の知らせ
- 編集後記
- 外来診療担当表…………… ⑦

『夏の佐世保港』 撮影：相良利博 氏

ごあいさつ

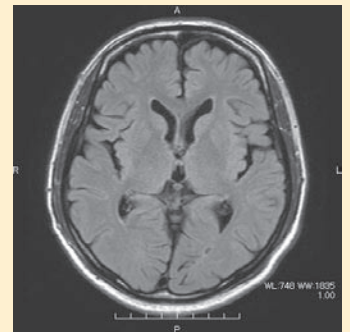
院長 木寺 義郎



8月恒例の市民公開講座も近くなりました。今年で13回目を迎えますが、当院は市民公開講座や健診を通して予防医学にも力を入れています。既に超高齢社会に突入した日本では、高齢者を中心に一人一人が積極的に自己の健康管理に取り組むことが求められます。私もその1人として健康寿命を延ばせるように当院の脳ドックを受診しました。

4月から新しく設けられた半日コースでは、脳ドックの要であるMRI検査が土曜日(休診日)の午前中に行われるために静かな環境のなかで済ませることができました。MRI画像には病的なものとしてはアルツハイマー病で見られる脳の委縮や脳室の拡大、無症候性の微小脳出血や陳旧性脳梗塞などが描出されます。最近物忘れの傾向がありますので、いずれかの所見があるのではと心配しましたが杞憂に終わりました。くも膜下出血の原因となる動脈瘤も認められませんでした。脳ドックにはMRI検査の他に四肢の血圧測定や頸部エコーも含まれており、血管年齢や動脈硬化の有無が分かります。私の推定血管年齢は年相応でしたが、血管壁の一部が肥厚しており動脈硬化が認められましたので、脳卒中のリスクが決して低くはないことを自覚し、ライフスタイルの一層の改善を考えているところです。

脳ドックによって思いがけない病気が発見されて、発症の予防に繋がるきっかけになるかもしれません。皆様のご参考になるように私の体験を紹介しましたが、脳ドックに関心をお持ちの方はお気軽に健診センターにご相談ください。



私の脳のMRI画像
(本年4月6日撮影)

事務部長就任のご挨拶

事務部長 ^{くりばやし} 栗林 ^{まさひろ} 昌弘



昭和53年 呉共済病院(新採用) 医事課
平成4年 横須賀北部共済病院総務課
課長
平成16年 本部病院部経営指導第二課
専門役
平成18年 本部旧令病院部管理課 課長
平成19年 東京共済病院 事務部長
平成22年 呉共済病院 事務部長

この度、3月31日付で佐世保共済病院事務部長を拝命いたしました栗林昌弘です。どうぞよろしくお願い致します。

私は広島県の呉市の出身です。佐世保市は呉市と同様旧軍港地で山と海に囲まれた環境はよく似ており、当地には大変親しみを感じております。

佐世保共済病院は、昨年10月に地域医療支援病院として承認を受けまして、現在は地域連携室を中心に地域の開業医の先生方と医療連携を築くために鋭意努力しているところでありますが、紹介率や逆紹介率をみてみますと未だ十分に先生方のご意向に沿ってない部分や改善すべき所も多々あるのではないかと思います。これから地域の先生方との円滑な連携に少しでもお役に立てればと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。

婦人科部長就任のご挨拶

まつくま けいた
婦人科部長 松隈 敬太



- 出身地 福岡県
- 出身大学 九州大学 昭和48年卒
- 主な職歴 昭和48年 九州大学医学部附属病院 産婦人科
昭和49年 佐世保共済病院
昭和50年 九州大学医学部附属病院
昭和63年 九州厚生年金病院
- 専門領域 婦人科悪性腫瘍治療
- 専門資格 日本産科婦人科学会産婦人科専門医・日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医・日本臨床細胞学会細胞診専門医・日本がん治療認定医機構がん治療認定医

4月1日付で産婦人科勤務となりました。当病院には以前研修医として勤務した縁があります。前任地(北九州市、九州厚生年金病院)での25年間の勤務は、婦人科悪性腫瘍治療と産婦人科救急医療に専念し明け暮れてきました。10年ほど前からの産婦人科医療の崩壊が続いていることは当佐世保市でも例外ではなく、市立総合病院との協力と棲み分けを優先した産婦人科医療が不可欠です。前任の病院は移転新築した際に、ホテル並みの豪華さが話題となり抜群の集客力につながりました。今後は病院全体の診療への高い意欲に加え、環境整備も同じ程度に要求される時代と思いました。どうぞよろしくお願いいたします。

内視鏡センターの開設のお知らせ

とみさき しんいち
内視鏡室部長 富崎 真一

この度当院内視鏡室が新しくなり、内視鏡センターとなりました。手狭となっていた内視鏡室を移転し、広く機能的な設備に拡張し3つの検査室を設置しました。また、検査前の緊張を少しでも和らげていただくようにセンター内にリラックスソファも準備しました。新しくなった施設・設備を充分に活用し、地域医療に大いに貢献できるように、日々の内視鏡検査、治療を行っていきたくと考えております。内視鏡センターをどうぞご利用下さい。



(前列左から) 梶田先生、松永先生、
富崎先生と内視鏡スタッフ

集中治療室 (ICU) 開設のお知らせ

ふかの たく
ICU 部長 深野 拓

平成25年6月、北館6階にあるHCU(ハイケアユニット)がICUへバージョンアップされました。昼夜、医師が常在する体制となり看護基準も4:1から2:1へ変更されています。

ICU(Intensive Care Unit)は呼吸・循環・代謝・その他の重篤な急性機能不全患者の容態を24時間体制で管理し、より効果的な治療を行うことを目的としています。現状としては、予定手術後の入室が6割、重篤な救急患者・一般病棟で重篤となった患者が4割を占めています。

ICU部長は麻酔科部長 深野 拓が兼務し、スタッフは救急看護認定看護師の乾 広貴師長をはじめ、他病院等でICU・CCU勤務の経験のある者を揃えています。今後、集中ケアや救急看護の認定を志す者も多く、日々良質な治療と心のこもった看護を提供できるよう学習や実践に励んでいきます。皆様、宜しく申し上げます。



(前列左から) 河野先生、深野先生と
ICUスタッフ

診療活動の現況 — 食物アレルギー —



小児科医長 合田 裕治

【はじめに】

近年アレルギー疾患が増加傾向にあると言われていています。外来診療を行っている中、その中でも以前に比べて食物アレルギーで受診してくる患者さんが増えたという印象を持ちます。一つは患者さん・ご家族及び医療者側の認識が高くなったことも関係しているかもしれません。

当院小児科はアレルギー学会専門医が2名在籍しており、小児気管支喘息をはじめとする小児アレルギー疾患の診療に力を入れております。今回は主に私が担当します食物アレルギーについて少しお話しさせていただきます。

【食物アレルギーとは？】

食物アレルギーは食品そのものではなく、その食品の中に含まれる特定のタンパク質に反応してアレルギー反応を起こすことが知られています。このタンパク質をアレルゲンと呼びます。例えば鶏卵アレルギーの場合、卵白に含まれる「オボムコイド」、「オボアルブミン」というタンパク質がアレルゲンとしてよく知られています（もちろんこれ以外にも存在しますが）。鶏卵アレルギーの方のうち、生卵は食べるとアレルギー反応を起こすけれど、ゆで卵等の加熱鶏卵は食べても症状が出現しない方もいらっしゃいます。これは「オボアルブミン」が熱に弱いタンパク質であるため、ゆで卵のようにしっかり加熱することで「オボアルブミン」が変性した結果反応しなくなるためと考えられます。しかし熱に比較的安定な「オボムコイド」にも反応する人は加熱しても摂取困難な可能性がありますし、加熱の程度や食べる量、患者さんの反応性（わずかな量のタンパク質で症状を引き起こすのか、ある程度の量は摂取しても症状を起こさないのか）にもよって異なります。

加熱によってタンパク質が変性するかどうかは食品によって異なります。例えば牛乳は加熱による変化は少ないと言われており、大豆は発酵させることで一部のタンパク質に変化が起こり摂取できるようになる患者さんが存在することも知られています。従って原因となる食品それぞれでの検討が必要になります。

【食物アレルギーの症状】

食物アレルギーでは様々な症状が起こります。具体的には

- 1 皮膚症状（紅斑、蕁麻疹、掻痒、湿疹など）
- 2 呼吸器症状（咳、ゼイゼイ、息苦しいなど）
- 3 消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、血便など）
- 4 循環器症状（血圧低下、不整脈、蒼白など）
- 5 全身性症状（アナフィラキシーショックなど）

などが代表的な症状で、特定の食品を摂取した際に上記症状が再現性を持って認められるのであれば食物アレルギーの可能性を考えていきます。

【食物アレルギーの診断】

保育園、幼稚園、あるいは学校から「食物アレルギーの検査をしてもらって下さい」と言われて外来を受診される患者さんがしばしばいらっしゃいます。おそらくはいわゆるアレルギー検査（血液検査や皮膚検査）をしてもらって下さいと言うことなのでしょう。では、食物アレルギーは血液検査、皮膚検査のみで診断してのでしょうか？ 答えは「ノー」です。食物アレルギーは、ある特定の食品（アレルゲン）を摂取し、免疫学的機序を介して生体にとって不利益な症状を引き起こす疾患です。

日常の診療の中で、血液検査である食品に反応を認めていたとしても、本人・ご家族にお話をよく聞いてみると普通に食べて症状が誘発されていないこともあります。また、症状が誘発されていることが明らかな食品の血液検査を行っても陰性であることもあります。従って血液検査のみでの診断は困難であり、場合によ

ては危険であることが考えられます。

時々保育園などから「病院に行って検査をしてもらって、結果の紙を提出して下さい」と言われて受診してくる方がいらっしゃいます。しかし結果を提出するだけであれば不必要な除去が行われたり、また除去が必要にも関わらず結果が陰性であるため摂取し症状を誘発する可能性もあるのです。これだけでは不十分であることについて、関係者の方々のご理解をお願い致します。

食物アレルギーの診断では問診（患者さんやご家族からしっかりと話を聞くこと）はとても重要です。いつ頃（何歳の頃）、何を食べて（加熱食品か生食品か、又その量）、どのような症状が出現し（食べてどれくらい経って症状が出現したか、症状が誘発される際に運動をしていたか）、どのように経過したか（薬を使用したか、病院を受診したか）、など細かく確認します。また、家族歴やこれまでに検査を行ったのであればその結果など、初診の際はたくさんのお聞きします。はっきりとしない場合は食物日誌をつけて頂くをお願いしています。

その後は問診に基づいて必要な血液検査や皮膚検査などを行い、確定のための「食物経口負荷試験」、「食物除去試験」などを検討することになります。

「食物除去試験」は名前の通り疑われる食品を一定期間除去することで症状が改善するかをみる検査です。一方「食物経口負荷試験」とは、実際に疑われる食品を経口摂取し、症状出現の有無や重症度の判定を行う検査です。

「食物経口負荷試験」は強い症状が誘発される可能性があるため当院では原則として入院していただいた上で検査を行っています。怖い検査でもあります。現時点では最も信頼性が高い検査であると言われていています。また、これまで行ってきた食物除去の解除や重症度判定などには欠かすことができない検査と考えています。

当院での負荷試験は小児科病棟にあるプレイルームで行っています。ここにはおもちゃ、絵本、



（4階北病棟 プレイルーム）

ビデオ、等をそろえており、子どもさんがリラックスできる環境を心がけています。

【食物アレルギーの治療】

現在の食物アレルギーの治療は、「正しい診断に基づいた必要最小限の原因食物の除去」に他なりません。

必要最小限の原因食物の除去とは、食べると症状が誘発される食物だけを除去することです。`念のため`、`心配だから`、とって、必要以上に除去する食物を増やさないようにする必要があります。個々の患者さんによって食べられる範囲は異なりますので、食物経口負荷試験を行い、必要最小限の除去を心がけるようにしています。

また当院では管理栄養士による栄養指導も行っており、除去による食事の影響を栄養の面からもサポートできるように心がけています。

【おわりに】

最近新聞やテレビなどでも話題になっていますが、まずは「本当にアレルギーなのか？」と疑問に持つことから始まります。お子様が何かを食べたときに「ぶつぶつが出る」、「吐く」、「下痢をした」など気になる症状があればお気軽にご相談ください。また8月10日には市民公開講座にて食物アレルギーについて講演しますので、ぜひご来場ください。（P6参照）

新採用医師の紹介

①出身大学・卒業年 ②在籍医局
③専門領域 ④出身地 ⑤趣味、その他一言

腎臓内科



よしざき まい
吉崎 真衣

- ①佐賀大学 平成22年
- ②佐賀大学 腎臓内科
- ③腎臓内科
- ④佐賀県

⑤よろしくお願いします。

循環器内科



べつき むねひさ
戸次 宗久

- ①川崎医科大学 平成20年
- ②久留米大学
心臓・血管内科
- ③循環器内科一般

④福岡県
⑤よろしくお願いします。

外科



かたぎり みつひろ
片桐 光浩

- ①久留米大学 平成21年
- ②久留米大学 外科
- ③外科一般
- ④福岡県

⑤佐世保生活を楽しみながら地域医療に貢献できればと思っています。宜しくお願いします。

外科



しもむら すすむ
下村 晋

- ①久留米大学 平成21年
- ②久留米大学 外科
- ③外科一般
- ④長崎県

⑤地域に貢献できるよう頑張ります。

整形外科



ささき まさし
佐々木 大

- ①九州大学 平成17年
- ②九州大学 整形外科
- ③膝関節・整形外科一般
- ④山口県

⑤佐世保の地域医療に貢献できるよう、精一杯頑張ります。

整形外科



うちむら たいき
内村 大輝

- ①九州大学 平成17年
- ②九州大学 整形外科
- ③肩関節・スポーツ障害
- ④鹿児島県

⑤広島・北海道から3年振りに帰って来ました。皆さんと共に九州での生活をしたいと思っています。

整形外科



あらい たかゆき
新井 貴之

- ①鳥取大学 平成20年
- ②九州大学 整形外科
- ③整形外科一般
- ④福岡県

⑤ゴルフ、飲み会、スポーツ観戦。

整形外科



まつした ゆう
松下 優

- ①佐賀大学 平成21年
- ②九州大学 整形外科
- ③整形外科一般
- ④長崎県

⑤酒、ゴルフが大好きです。

皮膚科



しらい れいこ
白井 礼子

- ①佐賀大学 平成20年
- ②佐賀大学 皮膚科
- ③皮膚科一般
- ④福岡県

⑤趣味は愛犬。親バカです。佐世保で楽しみながら仕事を頑張りたいと思っています。宜しくお願いします。

産婦人科



おおつか じゅんいち
大塚 純一

- ①埼玉医科大学 平成22年
- ②九州大学 産婦人科
- ③産婦人科一般
- ④福岡県

⑤釣り、ドライブ、アウトドア。

耳鼻咽喉科



まるた だん
丸田 弾

- ①福岡大学 平成19年
- ②九州大学 耳鼻咽喉科
- ③耳鼻咽喉科一般
- ④佐賀県

⑤運動全般、飲酒、ダイエット。当時は耳鼻科の勤務医が少ないようなので患者さん、開業医の先生方、院内他科の為、尽力致します。

放射線科



ふかえ しゅんや
深江 俊哉

- ①久留米大学 平成21年
- ②久留米大学 放射線科
- ③放射線科一般
- ④大分県

⑤ご迷惑をかけることもあるかと思いますが、宜しくお願いします。

地域医療 連携室より

Part.
20

米海軍診療所は佐世保共済病院と連携して、基地活動に携わる人々のための質の高い、思い遣りのある医療を提供しています。

米海軍中佐 サミュエル T. オライヤ 米海軍佐世保診療所長



T. オライヤ所長と木寺院長

米海軍佐世保診療所は、基地で任務についている米海軍軍人とその家族、基地関係者に対する初期医療と救急治療を行なっています。その外にも職場健診、労働衛生、予防接種、薬物中毒などへのカウンセリング業務など多岐にわたるサービスを提供しています。

当診療所は佐世保地域の医療施設との間で長年にわたって強い結びつきを築いて参りました。今日、協力関係にある地域医療施設は11を数えるに至っております。佐世保共済病院には殊にMRI、CT、超音波検査などの放射線診療部門に多く恩恵を受けております。救急外傷、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科などへも多く受診しております。

佐世保共済病院との友好関係には、その外にも例えば英会話教室があげられます。当診療所スタッフが共済病院の職員に月2回の英会話レッスンを行っており、現在7名の受講生が参加しております。

更にも、佐世保共済病院の若手医師を対象にインターンプログラムも実施しております。このプログラムの目指すところは、日本の医学教育を受けた医師にアメリカ式の医療現場と医療哲学を紹介し、英語のコミュニケーション能力を高めていただくことであり、我々の方としても診療所と共済病院の間の交流を滑らかにする上で助けてもらっています。研修医師は当診療所の医師と共に診療所内で行なわれるすべての医療活動に接して見聞を広め、おおいに刺激を受けているようです。

米海軍佐世保診療所と佐世保共済病院の絆は誠に貴重なものであり、佐世保基地の活動に携わる人々に対して質の高い、思い遣りのある医療を提供していくためにも、今後益々友好関係を強めて行きたいと願っております。

2013年 佐世保共済病院学術講演会

(入場無料)

第13回 市民公開講座

ここでしか聞けない

子どもの食物アレルギーのお話

座長 佐世保共済病院 岡 尚記 診療部長

1. みんなで学ぼう 子どもの食物アレルギー

講師：健康保険諫早総合病院 小児科 田代 香澄 医師

2. 当院における食物アレルギーの診療について

講師：佐世保共済病院 小児科 合田 裕治 医師

3. 食物アレルギー時の栄養について

講師：佐世保共済病院 栄養科 五家斐都美 管理栄養士

と き：

平成25年8月10日(土)

開場 13:30 講演 14:00

と ころ：

佐世保共済病院 北館8階 大講堂

お問い合わせ：

0956-22-5136 (内線 1104)

佐世保共済病院総務課市民公開講座係

講演

編集後記

2013年、今年の大ニュースの一つに「三浦雄一郎さんエベレスト登頂成功」があります。80歳にして40歳代並みの体力！本当に驚きでした。同世代の人はもとより日本中の方が勇気を貰ったことでしょう。まだまだ、暑い日が続きますが大いに飲んで大いに食べて、無理しない程度に運動をしてこの夏を乗り切りましょう！

編集委員 栄喜 貴穂



佐世保共済病院 外来診療担当表

平成 25 年 7 月 1 日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考 (専門分野・特徴など)	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
腎臓内科	部長	福成 健一	●										腎臓疾患・人工腎臓	
	医員	金谷 晶子			●		●						腎臓疾患	
	〃	松本圭一郎	●						●		●		腎臓疾患	
	〃	吉崎 真衣									●		腎臓疾患	
循環器内科	部長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患	
	医員	戸次 宗久	●						●				循環器疾患	
	非常勤医	田渕くみ子									●		循環器疾患	
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患	
	〃	溝口ミノリ				●							循環器疾患	
	〃	瀧井 英一										●	循環器疾患	
呼吸器内科	非常勤医	西田 憲史	●		●								循環器疾患	
	〃	鈴木 邦裕									●		呼吸器疾患	
	〃	横山 哲也					●						呼吸器疾患	
消化器内科	部長	河野 健次							●				肝臓疾患	
	医員	梶田 清貴	●				●							
消化器センター			●		●		●		●		●		(診療内容) 上部・下部消化管、肝・胆・膵疾患の検査及び治療 (検査内容) 胃カメラ、大腸ファイバー、ERCP、PTCD 等	
			下村		富崎		佐藤		片桐		井原			
外科	外科顧問	松永 章							●				消化器外科・内視鏡下外科・一般外科	
	診療部長	井原 司							●				消化器外科・肝胆膵臓外科・内視鏡下外科・一般外科	
	部長	原田 洋				●					●		消化器外科・乳腺外科・一般外科	
	〃	富崎 真一	●				●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科	
	医長	三笠 圭太	●				●				●		血管外科・一般外科	
	医員	佐藤 寿洋				●					●		消化器外科・一般外科	
	〃	片桐 光浩	●								●		一般外科	
	〃	下村 晋				●				●			一般外科	
	非常勤医	川畑 方博						●					肝胆膵臓外科・消化器外科・一般外科	
〃	武田 雄二								●			呼吸器外科 (第1・3・5週のみ)		
乳腺外来			●		●		●		●		●		※乳癌検診は、10時までに受付を行って下さい (要予約)	
			佐藤		片桐		原田		原田		下村			
小児科	診療部長	岡 尚記	●		●		●		●		●		小児一般、小児アレルギー疾患、気管支喘息	
	医長	合田 裕治	●		●		●		●		●		小児一般、小児アレルギー疾患、食物アレルギー、気管支喘息	
	乳児健診					●							火曜 午後1時から診察開始 午後2時までに受付を行って下さい	
	慢性外来							●					水曜 午後2時から診察開始	
喘息外来									●			木曜 午後2時から診察開始		
脳神経外科	部長	川口 務	●		▲		●		●		●		脳神経外科 ▲は10時30分までに受付を行って下さい	
	頭痛外来 (完全予約制)			●	●	●		●					月曜、水曜:午後2時30分~午後4時30分 火曜:午前11時~午後0時30分、午後2時30分~午後3時30分	
整形外科	副院長	萩原 博嗣	●								●		膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科	
	部長	久我 尚之				●		●		●			脊椎外科、腰痛、骨軟部腫瘍、骨折	
	医長	花田麻須大				●		●		●			手の外科、マイクロサージェリー	
	〃	水城 安尋				●		●					肩関節疾患、肩関節鏡視下手術、足部疾患	
	医員	佐々木 大	●				●		●				関節疾患、骨軟部腫瘍	
	〃	内村 大輝	●			●					●		肩関節疾患、スポーツ障害	
〃	新井 貴之	●							●	●		整形外科一般		
〃	松下 優	●				●						整形外科一般		
皮膚科	医長	大津 正和	●	●	●		●		●	●	●		アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、足白癬、帯状疱疹、皮膚腫瘍	
	医員	白井 礼子	●	●	●		●		●	●	●		男性型脱毛、陥入爪、ピアス、皮膚腫瘍手術 (火・水・金の午後)	
泌尿器科	診療部長	山田 潤	●				●				●		尿路結石、尿路生殖器腫瘍、排尿障害、尿路感染	
	部長	江口 二郎	※			●			●		●		男性不妊 (江口部長) ▲の診察は第1週のみ10時30分からです	
	医長	中村 貴生	※			●			▲				※:第2・4週 (江口部長) 第1・3・5週 (中村医長) が診察を行います	
産婦人科	院長	木寺 義郎	●								●		産科・周産期医療、不妊症・内分泌疾患	
	部長	鶴地 伸宏	●			■		●		●			腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患	
	〃	木下秀一郎				●		●		■	●		●: 婦人科診療日 ■: 産科診療日	
	〃	松隈 敬太							●					
	医員	二尾 愛	●■			●			●		■			
〃	大塚 純一	●									●			
眼科	医長	原 潤	●		●	※	●	※	●		●	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、網膜剥離手術、	
	医員	篠田 美佳	●		●	※	●	※	●		●	※	眼瞼下垂手術、翼状片手術、レーザー光凝固術	
													※: 火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来 (要連絡)	
耳鼻咽喉科	医長	竹内寅之進	●		●		●		●		●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療・小児の耳鼻咽喉科疾患	
	医員	丸田 弾	●	●	●		●		●		●		耳・鼻・咽喉頭・頸部などの手術	
放射線科	部長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。									MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査		
	医員	深江 俊哉												
	〃	吉田 紋子												
麻酔科	部長	深野 拓			●				●				月~金午前ペイン・緩和ケア外来	
	医員	木本 文子	●				●				●		月~金午後は手術麻酔	
	非常勤医	吉村 真紀												
	〃	別府 幸岐												
病理診断科	診療部長	井関 充茂											細胞診断・病理組織診断全般	
歯科口腔外科	医長	角町 鎮男	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	歯科口腔外科 (紹介患者のみ受付) インプラント・歯牙移植
	医員	矢内 雄太	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	顎変形症 (外科的矯正マウスピースなど)・顎関節症
健診センター	部長	佐藤 浩信	※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。											
	医長	原 敬一												
	医員	赤司富紗雄												